

2017年度  
学校法人梅花学園 事業計画書

2017年3月25日

## 梅花学園の建学の精神

キリスト教精神に基づき、他者への愛と

奉仕の精神を備える自立した女性を育成する

## 教学の理念

梅花学園は、キリスト教精神に基づき、人間として自分の生きる道を見出してその道を歩む力を身につけると共に、多様な価値観を認めて隣人と連帯する意欲を持つ人を育てる。さらにのびやかな感性を養い、調和のとれた知性をもって社会に適応すると共に社会に貢献する人が育つように努める

## スクール・モットー

人にしてもらいたいと思うことは何でも、  
あなたがたも人にしなさい。

(マタイによる福音書七章十二節)

## 2017年度 学校法人梅花学園 事業計画

### I. 経営の基本方針

建学の理念であるキリスト教精神に基づく人間教育の実践や、小規模な女子学園の特性を生かして以下に掲げる使命を果たす。

1. 各設置学校において、教育の特色を明確に打ち出し、育成しようとする人材像を社会に対して明示し、その約束を果たす。さらに、教育内容と学生・生徒・園児への各種支援・サービスを充実させ、満足度の向上を図る。
2. 各設置学校においては教育活動における事業活動収支の均衡をめざしつつ、中・長期的視野に立ち、法人全体として財務体質の強化を図る。また、各部門において経費の削減に努め、学生・生徒等の安定的確保を通して経常収支における均衡を図る。
3. 総合学園であるメリットを活かして、学園内の学校間における教育連携事業を推進する。
4. 教職員の職能アップや学内の情報共有の徹底を通して組織間連携を向上させ、マネジメント能力およびガバナンスの強化を図る。
5. 学内外に対し情報の公表を行い、教学および経営の説明責任を果たす。
6. 情報管理を適正に行い、併せて外部の情報を積極的に収集し、これに基づき時代の要請に対応した先進的戦略に基づく経営を推進する。
7. 危機管理への対応として、全教職員に対しコンプライアンスを徹底する。また、組織原則に基づいて、教育機関に相応しいガバナンスを示す。

### II. 学園改革への取組み

学園創立140周年を迎えるにあたり、学生・生徒・園児・同窓生および教職員が、梅花ファミリーの一員として、家族的な思いやりの心を持って相手を支え、さらには一致団結し、協力・連携することにより、18歳人口の減少期を迎える2023年を見据えた学園および学校作りを進める。

1. 各設置学校は教育内容の見直しと充実を図り、それぞれの教育目標に定める人材養成に沿った教育を推進する。
2. 安定した財政基盤を確立するために、入学者の確保と収容定員の充足に努める。このため、各設置学校においては各種行事・イベント等を通じて募集活動を強化する。
3. 大学の授業と連携した「梅花歌劇団（劇団この花）」の公演等を通して広報展開を行い、学園全体の認知度とブランド力を高める。

### Ⅲ. 事業計画の概要

#### 1. 教学充実、学生・生徒・園児支援の取組み

##### (1) 大学

学園の基本方針に従い、学生一人一人を家族同様に親身になって対応する大学をめざす。

##### ① 建学の精神の浸透

- 1) 建学の精神であるキリスト教主義に基づく人間形成をめざすため、学生および教職員に対し、礼拝（チャペル・アワー）への積極的参加を促す。
- 2) 全教職員を対象に本学園の「建学の精神について」学ぶ研修会を6月に開催する。
- 3) 茨木キャンパスにおける「チャレンジ&エレガンス」の具体的な実践を、学生および教職員に促す。

##### ② 大学の改組改編等

- 1) 食文化学部管理栄養学科を開設し、社会の要請に応える人材を育成する。
- 2) 大学院に看護保健学研究科口腔保健学専攻を開設し、高度職業人および研究者の養成に努める。
- 3) 心理こども学部こども学科に小学校教員免許の教職課程の設置に向けて準備を進める。
- 4) 心理こども学部心理学科に公認心理師（国家資格）の受験資格の取得が可能になるよう教育課程等を整備する。
- 5) 大学院看護保健学研究科看護学専攻（仮称）の開設に向けて準備を進める。
- 6) 既設学部・学科のコース（学びの分野）および入学定員の見直しを進める。
- 7) 2018年度の教職課程の再課程認定に向けて、各教科の再課程申請に取り組む。

##### ③ 教育・研究の充実

- 1) 人材育成方針の明確化のために、学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づくカリキュラムマップ、カリキュラムツリーの作成を進める。
- 2) 教育の改革・改善に関する取り組みを各教員に促し、教育目標を確実に実現する真の教育力をもつ大学をめざすため、優れた取り組みに対して経費補助を行う。
- 3) 研究の活性化をめざして、積極的な研究活動を教員に促すとともに、優れた個人研究およびプロジェクト研究に対して助成の充実を図る。
- 4) カリキュラムをスリムで魅力的なものにし、専任教員が専門科目および共通教育科目等を通して、全学生の教育に携わる体制作りを行うため、カリキュラム改革の検討を進める。
- 5) 教員一人ひとりの活動能力を高めて、大学全体の能力向上・活性化を図るために、教員の自己点検・評価制度の導入に向けて検討を進める。

##### ④ 産官学の連携

- 1) 学生たちの向学心を引き出し、社会で活躍できる力を伸ばすため、産官学の連携を積極的に推進する。
- 2) グランフロント大阪ナレッジキャピタル The Lab.を学生の学びを公開する場、教員の研究活動の場、さらには企業との連携拠点として活用する。

## ⑤ 学生支援

- 1) 出席管理システムやアドバイザー制度などを活用して、在学生の学修状況の把握に努める。また、退学・除籍者の割合を減少させることをめざして、教職員によるきめ細かな学生支援と関連部署間の情報交換を徹底させる。特に、入学直後の新入生のサポートを充実させる。
- 2) 全学生対象の「学修状況調査」を定期的実施し、その結果を学生支援に役立てる。
- 3) 卒業後の就職対策として、各種の国家試験および採用試験の対策講座を実施する。
- 4) 課外活動の活性化のため、これまで重点をおいてきたスポーツ分野に加え、今後は文化・芸術分野にも裾野を広げて支援を強化する。

## ⑥ エレガントな女性の育成のために

### 1) マナー教育

エレガントな女性の育成に向けて、その手引書となる『梅花マナーブック』（改訂版）を基にマナー教育に取り組む。

### 2) 美しい日本語教育

共通教育科目の必修科目「美しい日本語（話し方）」や「美しい日本語（書き方）」を通して学生の言葉の素養を引き上げる。また、挨拶の励行や時と場に応じた正しい言葉遣いの実践に取り組む。

## ⑦ 学部・学科の取り組み

### （文化表現学部）

国際英語学科：英語力を高めるため「TOEFL-ITP」、「TOEIC-IP」の受験を推進する。また、2年次の海外実習に向けて、1年次生全員を対象に9月上旬にハワイ研修を実施する。

日本文化創造学科：日本の歴史や文化について学ぶため、新入生を対象に1泊2日の京都での宿泊研修を行う。また、書の歴史や文化への理解を深めるために中国において5泊6日の書道研修を実施する。

情報メディア学科：各コースのゼミ等を通して、企業や地方公共団体とのコラボ企画を実践する。また、授業の学修成果を広告コンペやラジオCMなどにおいて発表する。医療事務・情報コースにおいては、病院等において医療事務の実習を行う。

### （心理こども学部）

こども学科：12月に開催する大学のクリスマスイブニングにおいて、造形・音楽・身体表現を通して子ども達が参加できるイベントを開催する。また、「ヨーロッパこども文化研修」の授業として、ヨーロッパ研修（ドイツ等）を行う。

心理学科：基礎学力の向上とキャリアに対する動機付けを行うことを目的に、各授業の初めに小テストを行うプルミアプログラムを実践する。また、犬・イルカ・馬・ゾウを介して行うアニマルセラピー実習を行う。さらには、小動物の生体や健康管理について学び、「小動物看護師」資格の導入に向けて取り組む。

### （食文化学部）

食文化学科：企業とのコラボを推進し、食品企業との間で新商品の開発をめざす。また、学生が考案したレシピを元に調理した商品を、大手スーパー・百貨店におい

て販売する。さらに、ヨーロッパの食文化について学ぶため、10日間のヨーロッパ研修を行う。

管理栄養学科：4年後の管理栄養士国家試験を見据え、初年次から対策講座に取り組む。

(看護保健学部)

看護学科：看護師および保健師の資格取得に向けて、2年次から4年次にかけて国家試験対策講座を行う。また、アクティブラーニングとしての協同学習をテーマとしたFD研修を行う。

口腔保健学科：海外の最新歯科医療について学ぶため、アメリカのサウスウェスタンカレッジ（サンディエゴ）において海外研修を行う。

## (2) 中学校・高等学校

建学の精神に基づく教育活動を通じて、コミュニケーション能力を高め、円滑な人間関係を構築し、真に社会貢献のできる、人間性豊かな自立した女性の育成をめざす。そのために、全教職員が建学の精神を共有し、「愛なる女学校」ならびに「チャレンジ & エレガンス」をテーマとして、日々の教育活動に活かすことをめざす。

### ① 2018年度中学・高校のコース見直し

2018年度4月に向けて、教育の充実を図り、より魅力のある学校を目指すためのコース見直しの検討を行う。早期実施可能な取り組みは2017年度から実施する。

### ② 不登校生徒への対応強化

「特別教室」（仮称：北館教室）を設置し、不登校生徒への対応を充実する。

### ③ 実用英語検定（英検）の高校生全員受験

目標の級への合格を目指すことで、英語に対するモチベーションおよび英語運用能力の向上をめざす。受験に際し、対策講座の充実を図る。

中学卒業時に3級、高校卒業時に特進・国際コースは2級、他のコースは準2級の全員取得を目標とする。

### ④ 卒業礼拝を外部ホールにて実施

卒業生の増加に伴い、円形講堂にて実施していた卒業礼拝を豊中市立文化芸術センターで実施する。

### ⑤ 標準コース等での英語研修

標準コースにおいても英語でのコミュニケーション力を養成するため、外部派遣のネイティブ講師や留学生とのアクティビティーおよびディバートの研修を実施する。

### ⑥ 海外修学旅行・英語語学研修の充実

国際情勢を鑑み、2016年度実施の経験を生かし高校修学旅行を中欧のプラハ・ウィーンと沖縄・石垣島の選択制、中学修学旅行をハワイで実施することで、グローバルな視点を持つ生徒の育成をめざす。

また、国際コースの3ヶ月学期留学はカナダ・オンタリオ州シムコー郡で、現地受け入れ高校を1校増やし、引き続き実施する。夏期海外英語体験学習は、オーストラリア・

タウンズヴィルで実施する。

中学では、福島県にあるプリティッシュヒルズにおいて英語宿泊研修を新たに実施する。

⑦ コースごとの特色を活かした特別プログラムの実施

特色ある各コースに在籍する生徒の満足度向上、および、モチベーションの維持をめざし、特別プログラムを実施する。

標準：・職業体験（コミュニケーションキャンプ<sup>®</sup>で実施・滋賀県長浜市黒壁スクエア周辺）

- ・自己アピール&マナー研修（11月）：（大人の女性としてのコミュニケーション能力と立ち振る舞いを身につけるための宿泊研修を「新大阪ユースホステル」において元CAの方を講師に実施する。

- ・大阪市立科学館・浪花教会訪問（1年生）：特別授業やプラネタリウム鑑賞などの体験学習を通して理系に対する興味づけを行う。また、浪花教会訪問で梅花学園の創立について考える機会とする。

- ・選択科目を高大連携科目「Liberal Arts @ BAIKA」として実施し、梅花オリジナルの魅力ある選択授業を展開する。

特進：・勉強合宿：1年生3回、2年生2回の合宿を行い、受験に対するモチベーションを高める。

- ・長期休暇期間の特別講座：弱点克服やレベルアップをはかり、目標の達成をサポートする。

- ・現代文特別授業：論理エンジン考案者の出口先生による特別授業により、学習法を考える機会とする。

国際：・イングリッシュキャンプ（5月）：「関西学院千刈セミナーハウス」でベルリッツ講師陣を中心に英語オンリーの宿泊研修を実施する。

- ・留学生との異文化協働体験型研修（11月）：1、2年生対象に校内でコミュニケーション能力向上の実践の場として留学生との研修を実施する。

- ・英語読み聞かせ：3年生が、土曜朝の読書の時間を利用して中学1年生に英語で絵本の読み聞かせを行う。

- ・ベルリッツ・ブラッシュアップ英会話講座（4月～）：高校2年生でのカナダ3ヶ月研修事前事後学習として、英語運用能力のレベルアップのための特別プログラムを週1回放課後に実施する。（希望者）

医療看護：・災害体験・小児応急手当教室（4月）：大阪市立阿倍野防災センターにて応急処置を学ぶ。

- ・普通救命講習受講（7月）：豊中市消防局講師を招聘して豊中キャンパスにて受講する。

- ・病院実習（2月）：西淀病院にて救急搬送患者の処置や血液検査のお手伝い、患者さんの食事配膳や手足を洗うなど看護師の日常業務を現場で体験する。

- ・実習ノートを梅花オリジナルで作成し、記録を取る習慣を身につけるとともに、文章表現力を養う。

こども保育：・梅花幼稚園での保育体験：平常時の保育以外に年3回の遠足・夏祭り・バザー等の行事に参加して保育の現場を学ぶ。

- ・1年生は近隣幼稚園で、2年生は近隣保育園でのそれぞれ3日間の保育実習を実施し、将来の仕事に対する意識を高める。

- ・こども学特講（通年）：舞台芸術コース講師の先生に保育演劇の指導を依頼し、梅花幼稚園での発表をめざし、コースの新しい魅力を創造する。

- ピアノ発表会（2月）：円形講堂にて2年生までのレッスンの成果を披露する場を設ける。
  - スキー実習（3月）：野沢温泉スキー場において、3泊4日のスキー・スノーボード研修を実施する。
- 舞台芸術：・1, 3年生が梅田芸術劇場での観劇(11月1日)：1, 2年生が宝塚歌劇観劇(9月8日)：プロのステージを鑑賞し、卒業公演等へ向けモチベーションの維持をはかる。
- 芸術発表会(11月8日)：梅田芸術劇場シアター・ドラマシティにおいて日頃のレッスンの成果を発表すると同時に、広くコースの特徴をアピールする。
  - 卒業公演(12月17日)：グランフロント大阪・ナレッジシアターにおいて開催する。
- 調理・製菓：・和菓子作り体験(4月)：京都「老松」(嵐山店)・「たねや」にて実施する。
- パテシエ体験(5月)：滋賀県でのコミュニケーションキャンプのプログラムとして「クラブハリエ」にて実施する。
  - 調理製菓スペシャルプログラム(特別実習)(6月)：「辻学園調理製菓専門学校」「デリチユース」のプロの調理人から学ぶ。
  - 洋菓子店「ミルフィーユ」と共同してオリジナルケーキを制作する。完成したケーキは入試説明会で来場者へ提供する予定。
  - 菓子検定(辻製菓専門学校主催)受験(2年生)(6月)：お菓子について知識や興味を高める。

#### ⑧ 高校総合学習での取り組み

- 標準 「生け花」「茶室体験」「着付け」等を実施することにより、日本文化を理解し、礼儀作法を身につける。また、日本語検定を必修受験とし、対策講座を実施する。
- こども保育 梅花女子大学こども学科の先生方から課題の提供を受け、保育の仕事や、こどもについて理解を深める。また、グループごとに10分程度の舞台演技を創作する。作品は創作発表で梅花幼稚園園児に披露する。
- 調理・製菓 特別調理製菓実習を実施し、プロから製菓・調理を学ぶ。また、菓子検定受験のための対策講座を行う。
- 舞台芸術 芸術発表会へ向けて作品づくりのため特別レッスンを専門講師により実施する。また、ボールルームダンスの特別体験会を実施し、多様なダンスを体験する。

#### ⑨ 中学総合学習での取り組み

- 各学年で調べ学習を中心に行い、情報を収集・整理し発表することから、生きる力を養う。また、全学年でマナー講座を受講することで、梅花の品位を体現できる生徒育成をめざす。
- 1年生：・キッザニアでの職業体験の事前事後に職業調べを実施し、将来の自分像を考える。
- 3年生でのハワイでの修学旅行に向けて、英語コミュニケーションの実践の場として「オオサカイングリッシュヴィレッジ」で研修を実施する。
  - 「国」調べや、新聞作りを通して、情報を得る力・まとめる力・表現する力を養う。
- 2年生：・3年生でのハワイでの修学旅行に向けて、英語コミュニケーションの実践の場として福島県「ブリティッシュ・ヒルズ」で宿泊研修を実施する。



- ・紙芝居を作り、発表することで、お話しをまとめる力・表現する力を養う。作成した紙芝居は発表会を実施予定。

3年生：・ハワイでの修学旅行に向けて、事前学習として調べ学習を行い、調べた内容をプレゼンテーションする機会を設ける。また、「インターナショナルマナー」と題した外部講師による講演会を通して、海外でのマナーについて考える。

⑩ 高大連携の充実 (Liberal Arts @ BAIKA)

梅花独自の魅力ある授業をめざし、高大連携科目の充実をはかり梅花女子大学（茨木ガーデンキャンパス）での授業・実習を増やし、高大連携のさらなる充実を図る。

- ・高校2年生高大連携選択科目：Web制作・造形デザイン
- ・高校3年生高大連携選択科目：心理学入門・カラーコーディネートペインティング入門・ファッションデザイン
- ・高校2年生「看護特講」「調理・製菓特講」月1回、高校3年生「看護特講」通年の授業を大学内で実習を交えて実施する。

⑪ 卒業展覧会・芸術作品展の実施

グランフロント大阪・ナレッジキャピタル・アクティブスタジオにおいて、11月に卒業生を中心とした生徒の美術や書道など作品の展覧会を開催する。また、3月には芸術選択授業・高大連携授業・クラブ活動で創作した芸術作品の展覧会を実施する。これにより、生徒の情操教育・感性の向上をめざし、モチベーションを保つと共に、梅花ブランド力を広く一般にアピールする。

⑫ チャリティイベント&入試説明会の実施

オータムチャリティイベント・梅花コレクション（通称：うめコレ）を女子大学との連携企画や学校説明会を組み合わせで開催する。この事により、出演者のモチベーションの持続や成長を期待すると共に、勢いのある「梅花」をアピールしていく。

・2017年9月23日（土・祝）グランフロント・ナレッジプラザにて開催予定

⑬ 中学・高等学校 芸術発表会“Dream Fest”の実施

コースの取り組みやクラブ活動の発表の場として芸術発表会を実施することで、出演者のモチベーションの持続や成長を期待する。また、特色ある新コースやクラブ活動を一般に広く知ってもらう機会とする。

・2017年11月8日（水）梅田芸術劇場シアター・ドラマシティにて開催予定

⑭ 高校舞台芸術コース卒業公演の実施

高校舞台芸術コースの第3回卒業公演を実施する。この公演では卒業生自らが演技のみならず、公演会全体をプロデュースすることで、3年間の総まとめを行う。

・2017年12月17日（日）グランフロント・ナレッジシアターにて開催予定

⑮ クリスマス特別礼拝の実施

「ことばを聴く・みんなで讃美する礼拝」としてクリスマスを祝う特別礼拝を、茨木ガーデンキャンパス澤山記念講堂で開催する。特別礼拝により創立者澤山の精神を再確認することで、建学の精神を理解し、隣人愛の精神を育てる。

・2017年12月16日（土）梅花学園茨木ガーデンキャンパス・澤山記念講堂

⑯ 中学・高等学校 第4回山川登美子短歌文学賞の実施

中学・高等学校在校生を対象とした山川登美子短歌文学賞を継続実施する。短歌教育により言葉の感性を磨き、美しい日本語を考える機会とする。また、この短歌文学賞を通し、梅花女学校を卒業し与謝野鉄幹・晶子に並び称される明星派の歌人、山川登美子の文学的業績を顕彰する。

⑰ 教師力向上に向けて

安定したより良い教師力を育成するため、PDCA サイクルを構築すると共に、教員研修の有効な実施法を研究し実施していく。

⑱ ICT 教育やeラーニングに向けて

プロジェクトチームを継続し、研究授業を続け、ICT を使った授業展開を多くの教員へ普及させる。また、これからの教育において必要不可欠になると考えられるICT 教育やeラーニングについての教職員の意識付けやハード・ソフト面の研究に加え、アクティブラーニングの実施に向けての研究を行う。

⑲ 学校評価の実施

教員の自己評価、生徒による授業評価を7月および3月の年2回実施する。また、学外からの関係者評価を実施し、その結果を検証することを通して教学の充実を図る。また、結果をホームページ上に公開する。

⑳ 学校運営組織の改革

校務分掌の見直しを実施し、業務の効率化をめざす。

㉑ 危機管理への取り組み

平素の危機管理システムの充実を図り、火災や地震などの災害時の対策として訓練・研修を年3回実施し、万が一の緊急時に備える。また、中学では登下校の安全学習として、防犯教室（6月21日）を実施する。

㉒ 在籍・成績管理システムの導入に向けて、内容の精査、業者の選定、校内コンピュータネットワークの充実に向けて検討を行う。

### (3) 幼稚園

教職員の保育力を高め、園児・保護者をはじめ地域社会からの信頼を強固なものにするため、教育研究や諸施策の充実を図る。また、併設の各学校や地域社会との連携強化により、幼稚園としての機能をより一層高めるなど総合力の向上を図る。

① 教師の保育力向上

キリスト教精神に基づく本園の教育理念に対する各教師の理解を深めるために、月1回の園内研究会を実施する。また、他園の保育者を招いての公開保育研究会の実施を通して第三者評価の機会を積極的に持つ。さらに、各機関の研修会参加等を通して、教師の保育力向上に努める。

園内研究会を4月から毎月実施する。大学講師を保育アドバイザーとして招聘し、各クラスを中心課題に沿った設定保育を教師が参観しあい反省批評会をもち保育の方向性を検討する。また、年1~2回の公開保育を実施し、本園の実施保育を他園の幼稚園教員

による参観や、意見交換、大学の講師陣を交えての討議会をもって、本園教員の保育力向上に努める。

## ② 保育関係者間の連携強化

女子大学こども学科と連携を取って、本園の幼児教育観を充分学生に伝え、幼児教育に対する知識を深めさせるよう配慮し、両者の共通理解を図る。また、高校の「こども保育コース」との連携をも図り、実際の幼児教育現場を観察することを通して生徒が保育に対する知識を高め、幼児教育への興味や意欲をもてるよう本園の保育の充実と向上に努める。

## ③ 子育て支援の強化

前年度に引き続き、預かり保育の時間延長を継続し、夏休み・春休み期間中にも預かり保育を実施する。また、月一回のキンダーカウンセリング等の専門分野からの子どもの発達や保護者の育児などの支援を充実させ、本園のみならず広く地域親子の子育て支援にも貢献する。

## ④ 危機管理体制の強化

安全で事故のない教育環境を保障するために、危機管理体制の一層の充実を図る。幼児の安全確保への責任意識を個々の保育者がしっかり持ち、一丸となって園全体の危機管理に努める。

## 2. 志願者増対策

### (1) 大学

#### ① 大学および学部・学科のセールスポイントの訴求

「チャレンジ&エレガンス」を人材育成のスローガンに掲げ、「仕事力あるおしゃれな女性」を育成するため、大学全体や学部・学科の取り組みと学びの内容を、受け取る側の目線を意識して表現し、伝えるようにする。

#### ② パンフレット

大学案内を部分改定し、梅花女子大学の特長と魅力を受験生に具体的に伝えるようにする。また、様々な切り口から特集パンフレットを作成し、大学案内の内容を補完する。

#### ③ ホームページの展開

受験生をはじめとする閲覧者の動向マーケティングを行い、ビジュアルを重視しつつ、コンテンツを能動的に展開する。また、WEB広告やスマートフォン対応も行い、さらにはSNSとの連動により拡散効果を図っていく。

#### ④ マス広告の展開

マス広告は、テレビCMを中心に展開し、学園全体のブランディング広告として発信を行う。またWEB広告を活用するとともに交通広告を実施する。

#### ⑤ 進学相談会への参加

直接受験生と接触が持てる進学相談会・高校内説明会に積極的に参加する。さらに地方戦略の一環として、地方での進学相談会に参加する機会を増やし、同時にその地域の高校訪問

を中心とした広報展開を行う。参加にあたっては大学の紹介および、相談会後のオープンキャンパスへの参加促進に注力する。

⑥ DMを中心とした受験生へのダイレクトな広報展開

受験雑誌への出稿という広報から、直接受験生にアプローチするDMを中心にした広報展開へシフトする。地域、希望分野、学年など、より詳細なセグメントを行い、対象者を絞り込みながら本学の情報を確実に伝達する。

⑦ 高等学校との連携強化

高校訪問は、近畿圏に加え地方からの志願者獲得をめざして中四国エリアの高校訪問を強化する。また、実績校からの入学者数の安定化を図るため、連携協定をはじめとした親密な関係を築くよう働きかける。

さらに梅花高校内に「梅花女子大学インフォメーションデスク」を設置し、生徒・保護者・教員から、大学への質問や相談に応じることができる体制を整える。

⑧ 塾・予備校との関係強化

塾・予備校に関しては、エリアを限定して訪問を重ねる。そのことにより近隣地域での地盤を固める。個人塾には、基本的な大学情報等を提供するなど「相手に歓迎される訪問」を行う。

⑨ オープンキャンパス

受験生が直接本学と接する機会として、5月以降11月までの間、毎月1～2回の頻度でオープンキャンパスを実施する。ここでは、学科紹介をはじめ、様々なイベントを開催し、個別相談にも応じることにより、本学の魅力を受験生に伝える。

また、地方からの来場促進のため岡山と香川からバスツアーを実施する。

さらに、積極的に学外に出かけて本学の魅力をPRするための学外イベント（1 Day Campus や梅花フェスタ）をグランフロント大阪において実施する。このイベントは、梅花中学校・高等学校と共催することで、オール梅花としてのブランド力向上を図る。

⑩ 入試制度改革

2018年度の一般入試Ⅲ期において、新たに看護学科、口腔保健学科で募集する。また、引き続き幅広い地域から受験生を集めることを視野に入れ、学外試験場およびセンター試験利用入試を実施する。なお、2018年度入試においては紙媒体の出願を廃止し、完全WEB出願を実施する。

## (2) 中学校・高等学校

① 入試広報体制の強化

塾・公立中学への訪問を強化する。特に近隣の徒歩・自転車通学圏内からの志願者増をはかるために、大手塾だけでなく、近隣の中小の塾についても関係強化を引き続きはかり、信頼関係を築く。

② 募集対策行事の再検討

校内での高校入試行事は「学校説明会」2回、「オープンキャンパス」4回、「入試説明会」3回の年9回を、中学入試行事は「学校説明会」2回、「オープンスクール」4回、「学校体

験会」1回の年7回と「プレテスト」3回を実施する。さらに校外での行事として「ナイト説明会」や「うめコレ」、「1 Day campus」等のイベントをグランフロント大阪で実施する。

校内での入試行事では、在校生から入試行事等での専属アシスタントとしてBAIKAガール（仮称）を募り、本校のアピールを強化する。

### ③ 塾対象説明会の強化

年2回（6月校外、9月校内）開催していた塾対象説明会を、年4回（6月ホテル阪急インターナショナルと校内、また9月、10月に校内で2回）の実施とする。塾の先生方の利便性を図ると共に、梅花の教育の広報とブランド力向上をめざす。

### ④ ホームページの充実

学園全体の統一イメージに沿ってホームページを刷新する。常に新しい情報が提供できるように更新の頻度を上げ充実を図る。また、動画映像の掲載を積極的に進めると共に、スマートフォン対応のさらなる充実を図る。さらに、常に閲覧者の分析を行い、効果的なホームページ運用をめざす。

### ⑤ Web広告の実施

パソコンやスマートフォンの普及を鑑み、Web広告を用いることで、ホームページへ導き注目度アップを図る。

### ⑥ スクールバスの本格導入

豊中キャンパス少路駅間にスクールバスバスを本格的導入し、大阪モノレール沿線および少路駅周辺地域の生徒募集を強化する。

### ⑦ 小学生対象英語暗唱大会の継続

第6回小学生英語暗唱大会「BAIKA CUP」を実施し、英語教育に対するイメージアップ、および、入学者の確保に努める。

### ⑧ こどもミュージカルレッスンの継続

2016年度に開講した小学校4～6年生対象のこどもミュージカルレッスンを引き続き実施する。

## (3) 幼稚園

### ① ホームページによる積極的な広報活動

ホームページを通して日常の保育の様子とその内容や特色を十分に広報し、保護者が本園の教育方針に対する理解を深め、入園意欲を高めるよう努める。また、高校こども保育コースとの連携活動の内容もホームページを通して広報し、総合学園としての特徴を積極的にPRしていく。

### ② 自己点検・自己評価活動の実施と広報展開

本園独自の教育の具体的な保育内容や、子育て支援および預かり保育等の取り組みについて、日常的な自己点検・自己評価活動を行い、その結果の公表等に積極的に取り組みながら教育の充実と改善に努める。この活動を通して保護者や地域住民の本園の特長についての理解促進をねらい積極的な情報提供を行う。

### ③ 未就園児教室の充実

次年度に3年保育入園対象となる未就園児親子が活動に満足し、入園に向けて意欲的になれるよう園教員と未就園児教室スタッフとがしっかり連携をとり、充実した教室運営を図る。未就園児対象の体操教室や園庭開放の充実を図り、地域にも広くPRをして、未就園児教室への入会、さらには年少組への入園に繋がる取り組みを強化していく。

### ④ 課外活動の充実

外部から専門講師を招聘し、「音楽リズム」、「英語」、「絵画造形」、「体操」、「剣道」の各活動により一層の充実を図る。また、学園の公式クラブとしてのチアリーディングや大学のこども学科と連携をとっている「こうめ文庫」（絵本活動）においても本園独自の取り組みとして広報を強化し、保護者の入園意識へとつながるよう努める。さらに、兄弟姉妹関係の入園につながる卒園児のサークル活動（英会話、書道、バレエ）においても協力体制を維持する。

## 3. 財政健全化への取組み

経営の安定化をめざして2016年度は経常収支において収支均衡を目標に掲げた。2017年度においても、同様の目標掲げ、各学校とも収容定員の充足に努め、安定した収入を確保すること。また、支出面においては、経費の削減に努め、費用対効果を高めることとする。

### 【2017年度予算編成方針】

- ① 中長期的な財政状況を考慮しながら、事業活動収支において、経常的な収支均衡の予算の編成を行う。
- ② 学生・生徒・園児数の増減によるもの等を除き、2016年度の配分基準額を上限としたゼロシーリング予算を基本とする。
- ③ 入学者数は、定員の充足を前提とする。
- ④ 各部門の予算単位においては、常に事業の見直しと検証を行うことにより、不要不急の支出を抑制するとともに、費用対効果に見合った事業を実施する。
- ⑤ 各種補助金や寄附金等、外部資金の獲得を積極的に進める。特に今年度は学園創立140周年記念事業募金の獲得に努める。

## 4. 教育環境の整備

### (1) 茨木キャンパス

#### (大学)

- ① 澤山記念館および山草館（D棟）の空調設備の更新。
- ② 山草館（D棟）および秀英館（E館）女子トイレの改修。
- ③ 図書館棟の耐震補強。

### (2) 豊中キャンパス

#### (中学・高校)

- ① ホームルーム教室への電子黒板機能付きプロジェクターの設置。
- ② 体育館アリーナおよび地下フロア照明のLED化。

以 上